

- (1) 単元名 「モンゴル・バヤンホンゴル校の学生との交流会」の報告をしよう
- (2) 本時のねらい 相手の反応を踏まえながら話すポイントを、班で報告会とその観察を通して気づくことができる。
- (3) 展開(50分)

学習活動	時間	指導上の留意点	備考・評価等
1.本時の課題と授業の流れを知り、学習の見通しを持つ。	5 (全体)	○これまでに行った「ペア・グループ」対話の振り返りで「うまくいかなかったこと」を基に課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">相手の反応を踏まえて話すためのポイントは何だろう？</div>	※「振り返り」を整理して板書
2. 班で報告会を行い互いに助言し合う。	15 (班・個人)	○「相手の反応には <u>どんな反応があるか</u> 」「 <u>反応を踏まえるとはどういうことか</u> 」を確認させる。 ○写真やカードを活用し、班で報告会を行わせる。 ＜報告会の実施方法＞ ・班は4人構成とし、全体の半分の班が報告会を、残りの班はそれを観察する。 ・報告会の班では、学習者Aのみが報告(話し手)をし、他は聞き手となる。 ◆学習者A(話し手)※プロット図にスピーチ構成を記入 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な部分を「写真」で示しながら。 ・「これは〇〇さんの言葉なのですが・・・」と友達の言葉を引用しながら。 ・具体的なエピソードをあげながら ※聞き手の反応をよく見て ◆聞き手 ※聞き取りメモに記入 ※アクティブ・リスニングを意識して	
3.班に戻って情報交換し、「相手の反応を踏まえた聞き方」のポイントを出し合う。	15 (班)	○自分が見つけた「相手の反応を踏まえた話し方のポイント」を班ごとに「話し手・聞き手・観察者」それぞれの立場から出し合わせる。 ◆話し手～(こんな反応に対して)こんな対応をした。 ◆聞き手～話し手が自分の反応に対してこう対応してくれた。 話し手がこんな対応をしてくれると良かった。 ◆観察者～話し手は聞き手のこんな反応にこんな対応をした。 話し手は聞き手のこんな反応にこう対応すれば良かった。 ○「根拠(実際の様子)を基にして」「その対応による効果も入れて」交流する。 ※熊手チャート ○班で話し合った結果を全体に発表させる。 ・教師のモニタリングにより指名した2班を中心に。 ・話し手はプロット図の下にどんなことを書いたか。	◆相手の立場や考えを踏まえながら、自分の意見を述べる態度や方法を見つけることができる。 ＜評価方法＞ ・発言・話し合いの観察
4. 全体で結果を交流し、「まとめ」をする。	5 (全体)	○熊手チャートに記入したポイントを整理しながら確認させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ㊦努力を要する状況の生徒への指導・支援 ・具体的な「項目」をあげ、それに対して自分はどう思ったかを考えさせる。 ・「いいなあ」「真似したいなあ」と思った所は何かを考えさせる。 </div>
5.学習の「振り返り」をする。	10 (全体)	○本時の学習を通して、自己の変容を語らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に身に付いた知識・技能は何か。 ・今までの学びとどのように結び付けられるか。(次のめあては) ・今日の学習は実生活や社会にどう生かせるか。 </div>	

- (1) 単元名 「モンゴル・バヤンホンゴル校の学生との交流会」の報告をしよう。
- (2) 本時のねらい 相手の反応を踏まえながら話すポイントを、班で報告会とその観察を通して気づくことができる。
- (3) 展開(50分)

授業の始めと終わりの挨拶を丁寧に

学習活動	時間	指導上の留意点	備考・評価等
1.本時の課題と授業の流れを知り、学習の見通しを持つ。	5 (全体)	○これまでに行った「ペア・グループ」対話の振り返りで「うまくいかなかったこと」を基に課題を設定する。 相手の反応を踏まえて話すためのポイントは何だろう？	※「振り返り」を整理して板書
2. 班で報告会を行い互いに助言し合う。	15 (班・個人)	○「相手の反応にはどんな反応があるか」「反応を踏まえるとはどういうことか」を確認させる。 ○写真やカードを活用し、班で報告会を行わせる。 <報告会の実施方法> ・班は4人構成とし、全体の半分の班が報告会を、残りの班はそれを観察する。 ・報告会の班では、学習者Aのみが報告(話し手)をし、他は聞き手となる。 ◆学習者A(話し手)※プロット図にスピーチ構成を記入 ・必要な部分を「写真」で示しながら。 ・「これは〇〇さんの言葉なのですが・・・」と友達の言葉を引用しながら。 ・具体的なエピソードをあげながら ※聞き手の反応をよく見て ◆聞き手 ※聞き取りメモに記入 ※アクティブ・リスニングを意識して	3,4名の生徒に振り返りをさせる。 教師が図の説明をする。 ・反応を踏まえるとは? ・プロット図
3.班に戻って情報交換し、「相手の反応を踏まえた聞き方」のポイントを出し合う。	15 (班)	○自分が見つけた「相手の反応を踏まえた話し方のポイント」を班ごとに「話し手・聞き手・観察者」それぞれの立場から出し合わせる。 ◆話し手～(こんな反応に対して)こんな対応をした。 ◆聞き手～話し手が自分の反応に対してこう対応してくれた。 話し手がこんな対応をしてくれると良かった。 ◆観察者～話し手は聞き手のこんな反応にこんな対応をした。 話し手は聞き手のこんな反応にこう対応すれば良かった。 ○「根拠(実際の様子)を基にして」「その対応による効果も入れて」交流する。※熊手チャート ○班で話し合った結果を全体に発表させる。 ・教師のモニタリングにより指名した2班を中心に。 ・話し手はプロット図の下にどんなことを書いたか。	◆相手の立場や考えを踏まえながら、自分の意見を述べる態度や方法を見つけることができる。 <評価方法> ・発言・話し合いの観察
4. 全体で結果を交流し、「まとめ」をする。	5 (全体)	○熊手チャートに記入したポイントを整理しながら確認させる。 教師が発言を整理する。	○努力を要する状況の生徒への指導・支援 ・具体的な「項目」をあげ、それに対して自分はどう思ったかを考えさせる。 ・「いいなあ」「真似したいなあ」と思った所は何かを考えさせる。
5.学習の「振り返り」をする。	10 (全体)	○本時の学習を通して、自己の変容を語らせる。 ・自分に身に付いた知識・技能は何か。 ・今までの学びとどのように結び付けられるか。(次のめあては) ・今日の学習は実生活や社会にどう生かせるか。	話し手の生徒にプロット図の下方に書いた話し手の工夫を話させる。

班で、熊手チャートを使った話し合い活動。
※役割分担は机の上にカードに表示。

指名させた班は前に出て説明。2班の発表後に質問・意見を受ける。

2,3名の生徒に振り返りをさせる。